

1. 研究の方針と研究主題

学校教育目標 [具体目標]
問題解決能力の育成及び結果としての学力向上 (文化的自由の獲得)
自他ともに意味ある活動にしようとする共同性の育成

本校の様々な教育活動の中で、学習指導の充実は一人ひとりの育ちを保障し、自己実現を助けるものとして、最も大切な課題として位置づけられている。本年度も引き続き以下の研究主題を設定し、学校教育目標の実現に向け、研究を深めていきたい。

研究主題

自ら学び、考える子

～ 個に応じた指導 ～

本校の研究は、すべての児童が「知りたい、確かめたい。」という思いをもち、いきいきと取り組む授業を目指してきた。理科・生活科・算数科の授業研究を通して、自ら学んだ結果として思考力や知識を身につけ、問題解決能力を高めることと同時に、自然への感性を高めることをめざしてきた。

理科・生活科では数年前から研究してきた児童の課題意識を大事にした課題別、方法別学習に加え、「発展・補充」学習にも取り組み、個々の問題解決能力を高める取組として、自由研究にも力を入れた。個々に選んだ課題を重点的に学習していくことができ、効果的に個に応じた指導を進めることができるという成果をあげた。昨年度は理科の授業研究において原点に立ち戻り、特に「観察」に重点をおき、児童が課題を自分のものとして追究する授業、一人一人がすすんで観察・実験に取り組み、その結果をもとにより深く考えることのできるような授業作りをめざした。

算数科においては、習熟の程度に応じた学習を重点課題として、グループ分けやそれぞれのグループでのねらいについてなど本校独自の習熟の程度に応じた学習のあり方を構築することができた。児童の苦手意識の強い文章題や量感を伴った理解のしにくい量と測定領域での授業研究を重点に取り組んできたが、その他の領域での実践にも広げてきた。

児童が学んだことを自分の考えとしてまとめるとき、媒体となるのは言語であり、問題解決能力を高めるために、また共に学び合い高まるために言語能力の育成は不可欠である。昨年度は科学教育を主軸にしながら、学習を支えるものとしての言語能力育成の面からの研究も進めた。そして学びの意味生成を検証するために体育科の授業研究も行った。

これらの取組の結果、理科については、いきいきと植物や生き物を観察したりものづくりをしたりする子どもの姿がみられ、直接体験の大切さを再確認することができた。その反面、これまで取り組んできた発展・補充型や複線型の授業にはあまり取り組むことができず、一斉授業の中での個に応じた支援のあり方も含めて、課題も現れてきている。

算数については、特に課題が多いとされる子どもの学習意欲の向上、基礎・基本の力の定着が少しずつ見られ、学力定着度調査においてもそれらが現れてきている。また、習熟の程度に応じた学習により、指導者側からは子どもの課題が浮かび上がってくるなどの成果が見られた。しかし、より主体的に学習に向かい自分の考え方を説明する、という面においてまだまだ課題が残されている。そこで、今年度は「根拠を明らかにして考える」「考えたことをわかりやすく説明する」ということを大切に授業に取り組んでいきたい。

以上に述べたようなこれまでの研究の成果と課題をふまえ、今年度も引き続き、「自ら学び、考える子～個に応じた指導～」を研究主題とし、授業実践を中心に研究を進めていきたい。

2. 今年度の研究の重点

科学教育（授業研究を通して）

理科・生活科

- ・「一人ひとりがめあてをもって、観察や実験をする」
- ・直接体験の重視〔1人1実験，飼育・栽培活動の徹底〕
- ・児童の課題意識を大切にした授業形態の工夫
〔導入と課題設定・複線型，順序選択，方法別〕
- ・個を活かす取組〔ものづくり，発展補充，自由研究〕
- ・予想や考察での話し合いの充実〔考えの根拠，絵や図を使った説明〕
- ・生活科における理科につながる単元の進め方の工夫

算数

- ・「根拠を明らかにして考える」「考えたことをわかりやすく説明する」
- ・考える意欲・話す意欲をもたせる支援の工夫 話し合いの充実
〔課題設定の工夫，提示用教具・自力解決用教具の工夫，話し合い時の支援〕
- ・習熟の程度に応じた学習の継続〔習熟の程度に応じた学習CD-ROMの活用〕
- ・一斉指導において，個に応じた指導を充実させる。
- ・「わかる」「できる」喜びを感じることができる授業。

学習基盤（日常の取組および授業研究）

- ・授業の中で書く機会を増やす。（例：100字200字の原稿用紙の常設）
- ・書くことについて，各学年で昨年度取り組んだ日常的な取組を継続する。
（日記，あのね帳）
- ・小集団での話し合いの方法を指導する（規模，進め方）
- ・授業研究（5月，2月：読み取って目的に応じて書くことについて）

3. 校内研究授業計画

習・・・習熟の程度に応じた学習

	算数	理科・生活科	国語	体育
4月				
5月	4年習 「わり算の筆算のしかたを考えよう」	6年「ものの燃え方と空気」	5年 千年の釘に挑む	
6月	くすのき 「お買い物しよう」	3年 「植物を育てよう(2)」		6年 ソフトバレーball
7月	1年習 「のこりはいくつ ちがいはいくつ」	2年 「野菜を育てよう」		
8月		1年 「花を育てよう」		
9月	5年 「さらに小数の計算のしかたを考えよう」 3年 「間の数」			
10月	6年「体積」	4年 「ものの温度とかさ」		
11月	研究発表会事前研究会			
12月 7日	研究発表会 1年 たすのかなひくのかな習 4年 変わり方 習 5年 くらべ方を考えよう習	研究発表会 2年(生活) 野菜大好き 3年 電気を通すもの通さないもの 6年 水溶液の性質	くすのき 「収穫祭しよう」 (生活単元 学習)	
1月	2年 「ちがいをみて」	5年 「もののとけ方」		
2月			1年 「どうぶつの赤ちゃん」	5年 ソフトバレーball
3月				